

(8) 事業者によるその他取組について

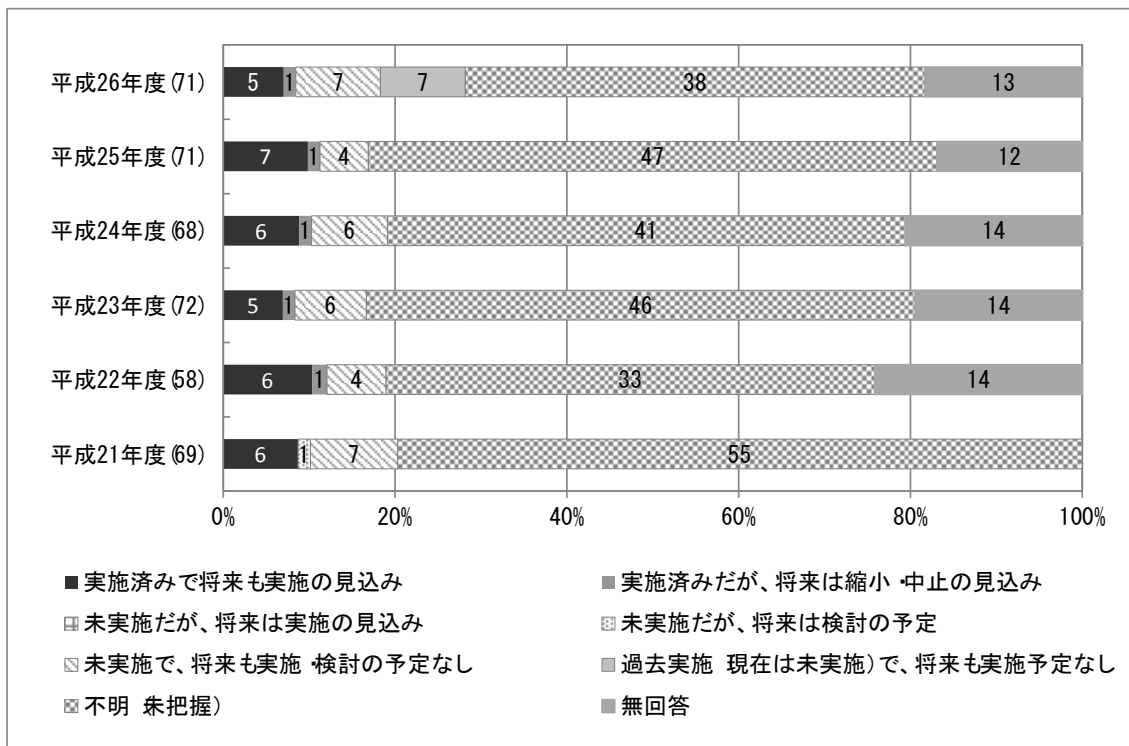
■今年度の特徴

「実施済みで、将来も実施の見込み」は1割弱にとどまっている。

■トレンド

実施済みで、将来も実施の見込み」は約1割で推移している。

事業者によるその他取組について（政令市・中核市・特別区）



- 「実施済みで、将来も実施の見込み」が5件（7%）、「実施済みだが、将来は縮小・中止の見込み」が1件（1%）、「未実施で将来も実施・検討の予定なし」が7件（10%）、「過去実施（現在は未実施）で、将来も実施予定なし」が7件（10%）となっている。

＜その他の取組に対する特徴的な回答＞

自治体	取組内容
杉並区	<p>杉並区と杉並区商店会連合会との間で協定を締結し、加盟店舗において「協力金箱」を設置して、レジ袋を必要とする顧客に任意で協力金箱3円～5円の寄付をお願いしている。</p> <p>集まった協力金は、区内小・中学校の環境整備に役立てるため、杉並区に寄付されている。</p>
高知市	<p>マイバック持参やレジ袋を辞退するお客様がお買い上げ金額からの2円引きではなく「地域応援（2円分を寄付）」を選択した際の積立金を物品（本や清掃用品等）に換え、店舗近隣の団体や活動に贈呈することで、地域に還元している。</p>
尼崎市	<p>店内放送やポスター掲示による啓発 レンタルバックの貸出 マイバック・マイバスケットの販売</p>
北区	<p>レジ袋削減の啓発を目的としたイベントの開催</p>
熊本市	<p>マイバッグの販売や啓発ポスターの掲示等</p>